

2016年10月5日

各位

会社名 SOMPO ホールディングス株式会社
代表者名 グループ CEO 代表取締役社長 櫻田 謙悟
(コード番号 8630、東証第1部)

Endurance Specialty Holdings Ltd.社買収手続き開始の合意について

当社は、100%子会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下「損保ジャパン日本興亜」）を通じ、世界最大の保険市場である米国を中心とした事業基盤を持つ Endurance Specialty Holdings Ltd.社（本社：バミューダ、ニューヨーク証券取引所上場、Chairman 兼 CEO：John Charman、以下「エンデュランス社」）を買収（以下「本件買収」）する手続きを開始することについて、本日、エンデュランス社と合意いたしました。

本件買収は友好的なものであり、エンデュランス社の取締役会は本件買収について全会一致で賛同しております。

なお、本件株式の取得価額（約 6,394 億円）は、当社グループがこれまで実施した買収のなかで最大規模となります。

1. 本件買収の背景

- ・ 当社グループは、2016年5月に公表した中期経営計画（2016～2020年度）において、グループ経営理念である「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供」を具現化し社会に貢献するため、サービス産業への構造転換を果たすとともに、グローバルプレイヤーに伍して戦えるポジションの確立を目指しています。海外保険事業は、先進国・新興国におけるオーガニック成長と規律ある M&A の実行による成長加速を通じて、規模と収益の飛躍的な拡大を追求しています。
- ・ 当社グループはこれまで、新興国では 2010 年のフィバシゴルタ社（トルコ）買収、2011 年のベルジャヤソンポ社（マレーシア）や 2013 年のマリチマ社（ブラジル）の子会社化、先進国では 2014 年のキャノピアス社（ロイズ）買収などを通じて、海外保険事業への経営資源シフトを積極的に進め事業基盤構築、収益拡大に取り組んできました。
- ・ 中期経営計画のもとでは、さらなる成長および資本効率向上の観点から、グローバルで分散の効いた事業ポートフォリオ構築を念頭に、先進国・新興国において元受事業に強みを持つ保険会社の買収について検討を重ねてきました。

- ・ エンデュランス社は、経験豊富で実績がある経営陣、および、高い保険引受技術をもつアンダーライティングチームを擁し、米国を中心に元受事業・再保険事業を展開するスペシャルティ保険グループです。これらの優れた人材をグループに取り込み、真にグローバルに統合された保険事業の構築を目指します。これは、当社海外保険事業にとって大きな進展、かつ変革となるものです。

2. 本件買収の概要

- (1) 買収対象 : エンデュランス社
- (2) 買収実行会社 : 損保ジャパン日本興亜
- (3) 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	普通株式 0 株 (議決権の数 : 0 個) (議決権所有割合 : 0%)
異動後の所有株式数	普通株式 67,782,489 株 (※1) (議決権の数 : 67,594,088 個) (議決権所有割合 : 100%)
取得価額	エンデュランス社の普通株式 : 約 63.0 億米ドル (約 6,375 億円) (※2) アドバイザー費用等 (概算額) : 約 19 億円

(※1) 本日現在の完全希薄化ベースの株式数を基準としております (本件買収に伴う株式関連報酬の精算による希薄化等を反映)。

エンデュランス社は、普通株式以外に、ニューヨーク証券取引所に上場されている無議決権優先株式を発行しており、当該優先株式は本件買収の対象ではありませんが、当該優先株式は普通株式に転換されることはありませんので、完全希薄化ベースの株式数には含まれておりません。

(※2) 本資料では、日本円の為替レートは、1 ドル=101.12 円を使用しています。

- (4) 買収条件等 : 普通株式 1 株あたり 93.00 米ドル (9,404 円)

本買収価格は、エンデュランス社 2016 年 6 月末普通株式 1 株当たり純資産 (68.20 米ドル) 対比 PBR で 1.36 倍に相当します。また、買収プレミアムは 10 月 3 日時点既往 3 ヶ月平均株価に対し約 40.3%に相当します。当社はエンデュランス社の資産内容、事業内容等について、慎重に分析および検討を重ねたうえ、この買収価格が公正かつ妥当なものであると判断いたしました。

- (5) 買収資金 : 本件買収のための資金は、当社グループ内の手元資金により充当する予定です。

3. エンデュランス社（買収対象会社）の概要

(1) 正 式 名 称	Endurance Specialty Holdings Ltd.			
(2) 所 在 地	英領バミューダ (Waterloo House, 100 Pitts Bay Road, Pembroke HM 08, Bermuda)			
(3) 代表者の役職・氏名	Chairman 兼 CEO, John Charman			
(4) 事 業 内 容	保険持株事業			
(5) 資 本 金	68 百万米ドル (70 億円) (※3)			
(6) 設 立 年 月 日	2001 年 12 月 17 日			
(7) 大株主及び持株比率 (2016 年 6 月末時点)	Dimensional Fund Advisors LP	6.79%		
	The Vanguard Group Inc.	6.66%		
	BlackRock Fund Advisors	6.38%		
	Fidelity Management & Research Co	5.03%		
	John Charman	4.96%		
(8) 上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	当社の関係会社と当該会社の関係会社との間には、再保険取引があります。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 (※4)				
	決算期	2013 年 12 月期	2014 年 12 月期	2015 年 12 月期
連 結 純 資 産		2,887	3,185	5,124
連 結 総 資 産		8,973	9,641	13,242
1 株 当 たり 連 結 純 資 産		55.18	61.33	65.48
グ ロ ス 保 険 料		2,665	2,894	3,321
連 結 税 引 前 利 益		318	349	359
連 結 当 期 純 利 益		312	348	355
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益		6.37	7.07	5.74
1 株 当 たり 配 当 金		1.28	1.36	1.40
コ ン バ イ ン ド レ シ オ		90.2%	86.0%	82.9%

(※3) 2016 年 6 月 30 日現在

(※4) 米国証券取引委員会に提出されている年次決算書 (Form 10-K) ベース。単位は百万米ドル (1 株当たり連結純資産、1 株当たり連結当期純利益および 1 株当たり配当金は米ドル。)

4. エンデュランス社の特徴

- ・ エンデュランス社は 2001 年に創業し、米国を中心に英国・バミューダなどで元受事業・再保険事業を展開するスペシャルティ保険グループです。
- ・ 米国第 5 位 (※5) のプレゼンスを持つ農業保険を始め、賠償責任保険や財物保険、スペシャルティ保険などの保険種目を幅広く取り扱い、バランスの良い引受ポートフォリオを実現しているほか、高度な ERM 体制の確立により、安定的かつ高収益な事業経営を実現しています。
- ・ また、規律あるアンダーライティングによる「収益性の向上」と M&A などによる「成長の追求」が図られており、2015 年には買収によりロイズに進出するなど、米国だけでなく英国などにおける保険事業にも領域を拡大しています。
- ・ 以下の通り、高い収益性・成長性・健全性を有しており、当社グループへの高い貢献が見込まれます。
 - 収益性：
元受と再保険のバランスが取れた事業ポートフォリオという特徴に加え、低い経費率を維持することにより、過去10 年間(2006 年-2015 年、以下同じ)の平均コンバインドレシオは 90.2%と高い収益性を維持しています。
 - 成長性：
過去10 年間のグロス保険料の年平均成長率は7.1%と高い成長性を実現しています。
 - 健全性：
良好な財務健全性を保持しており、民間の格付け会社からも高い保険財務力格付を取得しています (主な保険子会社の格付 S&P: A、Moody's: A2、A.M. Best: A)。

(※5) 2015年度元受保険料ベース

5. 本件買収の戦略的意義

(1) 真に統合されたグローバル保険事業プラットフォームの構築

エンデュランス社は、40 年以上のキャリアと高い実績を有する CEO が率いる優れた経営陣と多くの優秀なアンダーライターを擁し、スペシャルティ保険・再保険の分野で、グローバルな事業基盤を確立しています。これを取り込み、グループの一員として共に更なる成長を目指すために、先進国マーケットにおいて当社グループ海外保険事業との統合を行います。

(2) グローバルに分散が効いた事業ポートフォリオの構築

エンデュランス社は、経験豊富な経営陣による新規事業ユニットの立ち上げや M&A の実行および優秀なアンダーライターによる規律ある保険引受により、高い収益性を維持しながら、米国を中心に事業を拡大してきました。

当社は、本件買収により、世界最大の保険市場を持つ米国における強固な事業基盤を獲得します。これにより、海外保険事業はさらに地域分散の効いたポートフォリオとなり、グループ全体に占める海外保険事業からの収益比率は 12%から 27%と、当社事業ポートフォリオ

の分散が一層進むとともに、当社グループ経営の基盤強化が実現します。

(3) 海外保険事業・収益の飛躍的拡大

当社は中期経営計画（2016～2020 年度）で、2020 年度以降の目指す姿として「3,000 億円水準の修正連結利益」と「10%以上の修正連結 ROE」を掲げています。この中で、海外保険事業は修正連結利益ベースで 25%以上の貢献を目指しており、本件買収はその達成に大きく貢献します。

なお、2015 年度実績の単純合算による試算では、修正連結利益は 1,643 億円から 1,958 億円へ 315 億円増加し、修正連結 ROE は 6.9%から 8.2%へ 1.3 ポイント上昇します。

(4) 互いの強みを活かした成長機会の創出

John Charman 氏を中心とするエンデュランス社の経営陣は、本件買収後も経営を継続することで合意しております。エンデュランス社を当社グループに迎えることにより、同社が有する高い保険引受ノウハウをグループ内で展開し、またグローバルに事業展開する当社顧客へのソリューション提供へ活用します。加えて、同社が有する優れたリスク管理ノウハウのグループ内展開により、当社グループの ERM 体制強化を目指します。一方で、エンデュランス社にとって、当社グループが有するグローバルネットワークを活用することで、引受地域を拡大することが可能となります。これら相互の強みの活用による持続的成長を目指します。

6. 買収方法および手続き

- ・ 本件買収は、バミューダの会社法に基づき、損保ジャパン日本興亜がバミューダに特別目的会社を新規設立し、エンデュランス社を存続会社として両社を合併させる手法で行います（逆三角合併）。この手続きを通じて、損保ジャパン日本興亜はエンデュランス社の既存株主へ現金対価を支払い、エンデュランス社の普通株式を 100%取得します。
- ・ 本件買収については、エンデュランス社の株主総会での承認および関係当局等の認可・承認が前提となります。
- ・ 今後、速やかに手続きを進め、2017 年 1 月～3 月期に本件買収手続を完了する見込みです。

7. 今後の見通し

本件買収による当社業績への具体的な影響額については、適切な時期に公表する予定です。

以 上

この文書はいかなる証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、投票または承認の勧誘を行うためのものでもありません。この文書は、当社がエンデュランス社の買収に関する事項について一般に公表することのみを目的とする文書であり、日本国内外を問わず投資勧誘その他これに類することを目的として作成されたものではありません。